ISSN 0919-4657

KONC

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

関西自然保護機構会誌

25巻1号（通算45号）



2003年6月

関西自然保護機構

表 紙 の 言 葉

「アオモンイトトンボの交尾」

写真・文　樋上　正美

深泥池の水辺でよく見られるイトトンボは，アオモンイトトンボ，モノサシトンボ，キイトトンボ，ベニイトトンボ，クロイトトンボ，アオイトトンボ，などがある。なかでもこの写真のアオモンイトトンボは4月から10月ごろまで最もよく見られる小型のイトトンボである。

アオモンイトトンボは交尾時間が極端に長いので交尾はよく見られるが，産卵個体は意外に見つけにくい。他のイトトンボ類と違ってメスが単独で産卵するからである。この写真のメスはオスと同色のタイプであるが，メスには未成熟時に赤，成熟して褐色になる色タイプがいる。

水辺の草むらで双翅類の昆虫を捕食する他に，アメンボ類を捕食したり，羽化直後のモノサシトンボを襲って食べたりすることもある。

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organazation for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・維持会員の会費により，まかなわれています。